

## 圧延ロールの技術はどこまで進歩したか

基礎研究会 圧延ロール研究部会編

●A4判 約200頁, 発行予定:平成7年2月1日

本報告書は、日本鉄鋼協会基礎研究会圧延ロール研究部会がその5年間の研究期間を終えるに当たって、その活動により得られた成果をまとめたものである。ここには併せてヨーロッパの技術者からの寄稿を得て、ロール技術の進歩に重要な役割を果たしてきたヨーロッパのロール技術の状況報告も掲載してある。内容の中心は研究会が5年間重点的に研究してきた、熱間帯板圧延用ロールのロール原単位向上の技術課題とステンレス冷間圧延板の光沢性制御の技術課題を巡る成果報告にある。ベテラン・若手とを問わず、圧延に携わる技術者の必読の書と言えよう。

【目次】

第1部

1. 圧延ロール材質の展望と将来
2. ヨーロッパの熱延ロール技術
3. 熱延ロール材質
4. 圧延ロールの特性
5. ステンレス冷延技術
6. 冷間圧延におけるロール技術

第2部

- ハイスロールの製造技術
- ハイスロールの使用性能
- 熱間圧延用ロールの評価
- 冷間圧延用ロールの使用性能
- ステンレス鋼圧延のロール技術

予約締切 平成7年1月12日(木)

**((予約特価))** 定価 4,000円 (消費税・送料本会負担) 会員割引価格 3,000円 (消費税・送料本会負担)

予約期間終了後は、下記の定価および割引価格にて販売いたします。

定価 5,000円 (消費税・送料本会負担) 会員割引価格 4,000円 (消費税・送料本会負担)

叢書 鉄鋼技術の流れ

### 第7巻 低合金耐食鋼

監修:日本鉄鋼協会 責任監修:増子 昇

発行所:地人書館 著者:松島 巖

●A5判 約230頁, 発行予定:平成7年1月

当協会の創立80周年を記念して、育成委員会知的財小委員会の企画により「叢書 鉄鋼技術の流れ」第1シリーズ全10巻を刊行する。当叢書は日本鉄鋼協会の有する知的財を歴史的に展望し、鉄鋼技術者および大学院レベルの学生を対象に、講義ノートの的に各分野の権威者が個人執筆するもので、平成7年1月から4巻/年を刊行する。

当書はその第1号(第7巻)であり、低合金耐食鋼の技術開発の流れが的確に記述されており、このような研究の流れから新たな発想が生まれると信じる。自主技術の開発を目指す者にとって貴重な一書である。

【目次】

- 第1章:総論
- 第2章:耐候性鋼
- 第3章:耐海水鋼

- 第4章:耐硫酸露点鋼
- 第5章:耐みぞ状腐食電鍍鋼管

定価 3,296円 (消費税込・送料別) 会員割引価格 2,966円 (消費税込・送料本会負担)

日本鉄鋼協会創立80周年記念

## 叢書 鉄鋼技術の流れ

第1シリーズ(全10巻) 発行予定

(巻)	(タイトル)	(執筆者)	(発行予定)
第1巻	「高炉反応」	羽田野道春(住 金)	H7年7月
第2巻	「二次精錬」	梶岡 博幸(新日鐵)	H7年10月
第3巻	「製鉄・製鋼用耐火物」	杉田 清(新日鐵)	H7年4月
第4巻	「制御圧延・制御冷却」	小指 軍夫(NKK)	H8年1月
第5巻	「薄板連続圧延」	鎌田 正誠(NKK)	H8年4月
第6巻	「形・棒・線圧延」	中島 浩衛(新日鐵)	H8年7月
第7巻	「低合金耐食鋼」	松島 巖(NKK)	H7年1月
第8巻	「フェライト系耐熱鋼」	太田 定雄(神 鋼)	H8年10月
第9巻	「構造用鋼の溶接」	上田 修三(川 鉄)	H9年1月
第10巻	「鉄鋼の迅速分析」	佐伯 正夫(新日鐵)	H9年4月

### 申込方法

下記いずれかの方法でお支払い下さい。なお、請求書の必要な方は、ファックスにてご連絡下さい。

●郵便振替 東京7-193番(本誌綴込) ●現金書留

★申込先・問合せ先:〒100 東京都千代田区大手町1-9-4 経団連会館3階 (社)日本鉄鋼協会 太田  
TEL (03)3279-6021(代表) FAX (03)3245-1355